

様式第6
(第14条関係)

1

少量危険物
指定可燃物

貯蔵取扱い(廃止)届出書

2

〇〇年〇〇月〇〇日

3
佐久広域連合消防本部
〇〇消防署長

様

4 届出者 住所 〇〇県〇〇市〇町〇丁目〇番〇号 (電話 000-000-0000)

氏名 〇〇工場株式会社 代表取締役社長 消防 太郎 印

5

貯蔵又は取扱い の場所	所在地	〇〇県〇〇市〇町〇丁目〇番〇号		
	名称	〇〇工場株式会社		

6

類、品名及び 最大数量	類	品名	7 最大貯蔵数量	1日最大取扱数量
	第〇類	第〇石油類	〇〇〇ℓ (〇〇倍)	

8

貯蔵又は取扱方法の概要	屋外のタンクから非常用発電機へ燃料を供給する
-------------	------------------------

9

貯蔵又は取扱場所の位置、構造及び設備の概要	敷地北側、コンクリート地盤にタンクを固定し、周囲に防油堤を設置する
-----------------------	-----------------------------------

10

消防設備等又は特殊消防用設備等の概要	粉末消火器 10型 1本
--------------------	--------------

11

貯蔵又は取扱いの開始予定期日又は期間	〇〇年〇〇月〇〇日	廃止年月日	
--------------------	-----------	-------	--

12

その他必要な事項		廃止理由	
----------	--	------	--

※ 受付欄

※ 経過欄

- 備考
- この用紙の大きさは、日本産業規格A4とすること。
 - 法人にあってはその名称、代表者氏名、主たる事務所の所在地を記入すること。
 - ※印の欄は、記入しないこと。
 - 貯蔵又は取扱いの場所の見取図を添付すること。

- 1 届出に係る区分以外を二重線で抹消する。
- 2 届出書を提出する日を記入する。
- 3 「佐久広域連合消防本部 ○○消防署長」と記入する。
- 4 少量危険物・指定可燃物を貯蔵し、又は取り扱う者の住所、氏名を記入する。届出者が法人の場合は、その名称、代表者氏名及び主たる事務所の所在地を記入する。
- 5 貯蔵又は取扱いの場所
貯蔵取扱所を設置又は変更しようとする場所の所在地及び名称を記載する。
貯蔵取扱所の所有者等が個人の場合は氏名を、法人の場合は事業所の名称を記入する。
- 6 類・品名（指定数量）
危険物の類及び品名、指定可燃物の品名を記入するとともに、化学名、通称名を併記する。書ききれない場合は「別紙のとおり」とし、別紙に記入する。
【例】・第四類第2石油類（灯油）
・可燃性液体類（大豆油）
- 7 最大数量
1日のうちで、貯蔵又は取り扱う少量危険物・指定可燃物の最大となる数量を記入する。
また、最大数量に記入した数量をもとに、その指定数量の倍数を記入する。
- 8 貯蔵又は取扱方法の概要
屋内貯蔵、屋外貯蔵、屋内タンク、屋外タンク、地下タンク、移動タンク等の施設形態と貯蔵・取扱い方法の概要を簡記する。
【例】・屋外タンクから非常用発電機へ燃料を供給する。
・屋内貯蔵庫において、ドラム缶で貯蔵する。
- 9 貯蔵又は取扱場所の位置、構造及び設備の概要
貯蔵取扱所の概要を簡記する。
【例】（屋外の場合）敷地北側、コンクリート地盤にタンクを固定、周囲に防油堤を設置する。
（屋内の場合）本館1階の南側ボイラー室、主要構造部は耐火構造。床面は浸透防止構造。
- 10 消防用設備等
消防用設備等の種類と設置数を記入する。
【例】・粉末消火器（10型） 1本
- 11 貯蔵又は取扱いの開始予定期日又は期間
貯蔵又は取扱いを開始する予定年月日を記入する。
- 12 その他
設計者、施工者等の所在・名称・電話番号のほか、特異な事項等を記入する。
タンクにより貯蔵取扱いをする場合で、水張（水圧）検査が終了しているものは、検査機関、検査年月日及び検査番号を記入する。